

株式会社 千葉ショッピングセンター

1 団体概要

設立年月日	昭和36年11月1日	資本金	50,000 千円 (うち市 20,000 千円 40.0%)
設立目的	旧千葉駅の移転に伴い、駅周辺商店街の優先的出店を促すなど地元商業の振興に重点を置き、千葉市中心部の活性化に寄与することを目的としている。		
所在地	千葉市中央区本千葉町15番1号		
代表者	代表取締役社長 大野 和広		
所管課	経済農政局経済部産業支援課		

2 組織状況 (令和8年4月1日現在) (単位:人)

	常勤	非常勤	計
役員(監事含む)	4 (3)	4	8 (3)
うち市OB	2 (1)	0	2 (1)
うち市派遣	0		
職員	4		
うちプロパー	0		
うち市OB	4		
うち市派遣	0		
計	8		

※常勤役員と常勤職員とを兼務している者については、常勤役員数にのみ計上し、その人数(内数)を括弧書きで記載している。

3 財務状況 (単位:円)

	R5年度	R6年度	R7年度
営業利益	181,082,371	189,787,016	172,468,118
経常利益	184,468,969	199,023,054	181,633,158
税引前当期純利益	184,278,608	194,206,381	181,633,149
当期純利益	121,268,124	130,195,187	121,747,722
総資産(A)	3,731,097,671	3,834,470,361	3,941,945,802
負債(B)	717,977,400	696,154,903	686,882,622
純資産(A-B)	3,013,120,271	3,138,315,458	3,255,063,180
市補助金	0	0	0
市委託料	0	0	0

職員 平均年齢	60.5 歳	職員平均 給与(年額)	4,505,795 円	役員平均 報酬等額(年額)	9,474,740 円
------------	--------	----------------	-------------	------------------	-------------

※常勤職員(市派遣を除く)の平均

※常勤役員についての平均

4 実施事業 (単位:円、%)

主要事業	区分	事業内容	事業費※	市支出額	依存率
ショッピングセンター事業	自主	千葉ショッピングセンターの管理運営	664,570,399	0	0.0

※R7年度決算額

指定管理者として管理する 公の施設	なし
----------------------	----

情報公開	HPアドレス 公開情報	www.chibasc.co.jp ☐ 定款・寄付行為 ☐ 役員名簿 ☐ 財務状況 ☐ 経営改善計画
------	----------------	--

5 評価指標(共通指標) (単位:%)

	評価指標	R5年度	R6年度	R7年度
自立性	補助金依存率	0.0	0.0	0.0
	受託事業収入率	0.0	0.0	0.0
	自主事業比率	100.0	100.0	100.0
効率性	人件費比率	13.1	13.5	12.8
	販管費比率	100.0	100.0	100.0
安全性	自己資本比率	80.8	81.8	82.6
	流動比率	1487.7	1722.5	2093.4
	固定長期適合率	42.0	36.0	33.9

6 外郭団体による評価

総合評価	今年度は、退店が5店舗、出店が6店舗、総店舗数は63店舗となった。経済環境の好転により、テナントの売上げや来館者数は、ほぼコロナ禍前の水準まで回復している。 従来の荷捌き場・ゴミ置き場の返還に伴い、移転工事を実施したほか、経年劣化した施設整備の補修や自動ドアを新設などを行ったほか、地域貢献活動として、引き続き千葉駅周辺の大型店との共催による「千葉えきまつり」の開催や障害者の自立支援活動へのスペースの提供を行った。 この結果、売上高は、前年度比100.8%と、前年度と同水準となったが、最終の当期純利益は、賃借料の経費増もあり、前年度比93.5%となった。
今後の方針	個人消費はサービス消費を中心に緩やかに回復し、当施設でも全店舗での売上・来街者数が概ねコロナ禍以前まで回復してきている。引き続き、テナント誘致や退店を防止の支援等が必要であり、多様化するお客様ニーズに応える快適な商業空間づくりと魅力あるテナントの誘致が求められている。また、老朽化した施設設備の修繕・更新、安全対策の強化、火災・地震等の被害軽減策も重要となっている。更に、千葉開府900年事業を始めとした各種イベント等を支援し、地域貢献に取り組む必要がある。こうした状況を踏まえ、本市中心部の商業の振興と活性化に寄与する地域密着の商業施設としてさらなる魅力の向上を目指し、引き続き「営業活動」「施設整備等」「安全対策」「地域貢献活動」の4つの事業に取り組んでいく。

7 所管局による評価

総合評価	テナントは退店が5店舗あったものの、出店が6店舗となり結果的に総店舗数が増となったほか、経年劣化した施設整備の補修や自動ドアの新設など環境整備に取り組んでいただいた。 また、地域貢献活動引き続き千葉駅周辺の大型店との共催による「千葉えきまつり」の開催や障害者の自立支援活動へのスペースの提供を行っていただいた。
今後の方針	令和8年度は、先行き不透明な経済動向を見据えながら、千葉ショッピングセンター商店街振興組合等と連携し、テナントへの事業継続支援を行うことで、退店の防止や新たなテナント誘致を行うとともに、災害発生時等の安全対策を講じるなど、貴社の強みである地域密着の商業施設として積極的な事業展開を行っていただきたい。